

## 基本政策 1 多様な働き方の実現

### 【基本政策の方向性】

少子高齢化に伴う労働力の減少、雇用形態の多様化に対応するため、労働生産性の向上と個人のワーク・ライフ・バランスの両立に取り組み、多様な働き方が実現できる“まち”を目指します。

### 5年後の目指す姿

#### 「多様な働き方が出来る社会」

労働生産性の向上を目指し、働く時間や場所によらない柔軟な働き方の導入、ワーク・ライフ・バランスの促進など、多様な働き方が出来る社会の構築を目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
就業員数（国勢調査）	52,330 人（R1）	⇒ 54,100 人（R7）

### 基本施策

#### 1-1 労働環境の整備

長時間労働の抑制、勤労者の安全、健康の確保などワーク・ライフ・バランスの促進のため、国や県等と連携し、労働環境の整備を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
働き方改革に関する取組モデル事業所（埼玉県）	0 事業所（R1）	⇒ 3 事業所（R7）

#### 【主な取組】働きやすい環境の整備（雇用主）

働き方改革に関し、事業所への啓発や先端設備導入などに対して支援することで、働きやすい環境を整備できるよう支援します。

【KSF】	現状値	目標値
働き方改革に関する取り組み事業所に対する支援	0 事業所（R1）	⇒ 3 事業所（R7）

## 1-2 あらゆる方の就労を促進

国や県等と連携し、情報提供や就労相談体制を充実することで、あらゆる方の就労を促進します。

【KPI】	現状値	目標値
ふるさとハローワーク(※)における就職率 ※ハローワークが設置されていない市町村で、国と市町村の共同運営により、職業相談・職業紹介などを行う機関	19.5% (R1)	⇒ 25.0% (R7)

## 【主な取組】女性・高齢者の就労促進

雇用の安定及び雇用情勢、就労形態の多様化などに対応するため、国、県の機関や広域的連携によるセミナーを開催し、女性や高齢者の就労促進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
女性のセミナー参加率	60.0% (R1)	⇒ 70.0% (R7)
高齢者のセミナー参加率	55.0% (R1)	⇒ 60.0% (R7)

## 【主な取組】障がい者・若者等の就労支援

雇用の安定及び雇用情勢、就労形態の多様化などに対応しながら、誰もが安心して働くことのできる社会を目指し、ハローワークと連携した就職面接会の開催などに取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
新規学卒(※)・若者就職面接会の参加事業所数 ※主に大学を卒業している方を指す言葉で、4 年制大学や短期大学、専門学校を卒業している市民	159 事業所 (R1)	⇒ 170 事業所 (R7)
障がい者就職面接会の参加者	延べ 126 名 (R1)	⇒ 延べ 150 名 (R7)

## 関連する SDG s ゴール



女性の就労促進に取り組み、女性の活躍を原動力とした成長を促すとともに、その力を十分に発揮できる環境づくりに取り組みます。 関連ターゲット (5-1,5-5,5-a)



若者や障がい者を含むあらゆる市民が安定的な雇用のもと、働きがいを感じられるよう、労働環境の整備に取り組みます。 関連ターゲット (8-5,8-6,8-8)



多様な働き方の推進などにより、あらゆる方の能力発揮が十分になされるとともに、働き方改革などを推進し、持続可能な労働生産性の確保に取り組みます。

関連ターゲット (10-1,10-2,10-3)

## 関連計画等

導入促進基本計画 (平成 30 年度～令和 3 年度)

## 関連部署

市民生活部 人権市民相談課

健康福祉部課 障がい福祉課

まちづくり推進部 産業振興課